

教育研究業績書

日付 2026年8月1日

氏名 梅田 浩二

研究分野	研究内容のキーワード
経営学、法学、中小企業経営に関する実務	経営戦略、管理会計、国際税法、中小企業の事業再生コンサルティング

授業・教育向け業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
特記事項なし						

学術理論的研究業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
トヨタグループ企業の原価管理と原価教育	共著	2022年4月	中央経済社「企業会計」第74巻4号			自動車業界は、CASEと呼ばれる新しい領域で技術革新が進んでいるが、トヨタグループ企業の原価管理の基本(原価企画・原価維持・原価改善)は変わらない。IFRS移行に伴う研究開発費の会計処理変更など実務と原価計算基準との乖離が進みつつある。大きな環境変化の中で、企業内や大学での原価教育が一層重要性を増している。原価計算基準は原価管理実務や教育において間接的に影響しており、その有用性は否定されるものではない。
自動車産業における「原価計算基準」の弾力的適用	共著	2022年4月	中央経済社「企業会計」第74巻4号			本稿は、加工組立型産業である自動車産業の企業が多く採用する原価計算実務と原価計算基準とを対比することで、当該産業による原価計算基準の弾力的適用の状況を概観する。また、それを踏まえ原価計算基準の改訂等に関する今後の方向性について実務的視点からの若干の提言を行う。
企業グループのネットワーク・システムがグループ内シナジー創出に与える影響ー技術的経営資源の展開戦略との関係性の視点からー	単著	2024年1月	SBI大学院「紀要」11号			本稿の目的は、企業グループにおける水平的かつ垂直的なマネジメントコントロール・システム(本稿では企業グループのネットワーク・システムという)が、技術的経営資源の展開戦略とどのような関係性を持ちながらグループ内のシナジー創出について影響するかについて実証分析することにある。関係性に関する可能性の一つは、資源展開戦略がシナジー創出に及ぼす影響に対するネットワーク・システムのモデレート効果である。また、他の一つはネットワーク・システムが資源展開戦略を媒介してシナジー創出に影響を及ぼすという間接効果である。分析の結果、グループネットワーク・システムはシナジーの創出に対する間接効果を持つことが示唆された。
トヨタの組織能力に関する一考察ー原価企画の日常業務に埋め込まれたルーティンー	単著	2026年2月	SBI大学院「紀要」13号			本研究の目的は、元トヨタ自動車(以下トヨタという)の製品主査及び車両担当へ原価企画活動に関する半構造化インタビューを行い、トヨタの競争優位の源泉となっている組織能力を醸成するルーティンについて考察することにある。分析の結果、「日常業務における顧客提供価値とコストの最適バランスの徹底追及」と「原価企画における目標値割付けに対する合意形成と柔軟な統制メカニズム」が他社にとって模倣困難な組織能力を醸成するトヨタのルーティンであることが示唆された。

実務的業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
脱炭素でチャンスをつかむー中小企業流の脱炭素経営ー	共著	2023年2月	愛知県中小企業診断士協会「第11回経営改革シンポジウム」			公益社団法人愛知県中小企業診断士協会の公益事業である調査研究の実行委員として「第11回経営改革シンポジウム」を企画・運営。経済産業省中部経済産業局、株式会社協発工業、カーボンニュートラル研究会による行政・企業・支援機関からの講演、及びパネルディスカッションを実施し、カーボンニュートラル社会実現に向けた取り組みを議論した。
人財で紡ぐ未来ー中小企業流の人的資本経営ー	共著	2024年2月	愛知県中小企業診断士協会「第11回経営改革シンポジウム」			公益社団法人愛知県中小企業診断士協会の公益事業である調査研究の実行委員として「第12回経営改革シンポジウム」を企画・運営。経済産業省中部経済産業局、株式会社大橋運輸、一般社団法人グローバル愛知、人的資本経営ル研究会による行政・企業・支援機関からの講演、及びパネルディスカッションを実施し、中小企業の人的資本経営に関する取り組みを議論した。